

授 業 科 目 名	図画工作	教 員 名	守川 美輪	免許・資格 との関係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	選択
授 業 形 態	演習	担当形態	単独		保育士	選択
					こども音楽療育士	
科 目 番 号	KY0202	配当年次	1年前期	卒 業 要 件	小幼コース	選択
単 位 数	2単位				幼保コース	選択
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園） 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 める 科 目 区 分 又 は 事 項 等	領域に関する専門的事項（幼稚園） 教科に関する専門的事項（小学校）					
一 般 目 標	図画工作の基礎技能を習得する。学生の造形感覚と創造的な技能を高め、創造性を豊かにする。 また、材料・道具を扱う技能を高め、効果的で安全に扱うことができるようにする。					
到 達 目 標	(1)対象を見て絵に表すことができる。 (2)透視図法・投影法を使って作図をすることができる。 (3)混色によって求める色をつくりだすことができる。 (4)絵を見て色や形、イメージについて感じたことを言葉で表現することができる。 (5)配置と配色を意識し、美しい構成をすることができる。 (6)カッターナイフ及び小刀を扱うことができる。 (7)のこぎり及び糸鋸を扱うことができる。					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	この授業では、図画工作の基礎技能を習得する。学生自身が自分らしさを発揮して表現を追求し、その過程を通して基礎技能を養う。学生自身が表現を楽しみながら、各回の製作に取り組み、想像力や感受性、構想力を含む造形感覚と創造的な技能を高めていく。製作活動を通して材料・道具に関する知識を得ると共に、材料・道具を扱う技能を高め、効果的で安全な扱い方の指導ができるようにする。鉛筆、コンテ、水彩絵の具、顔彩・墨、小刀、鋸等を扱う。 アクティブラーニングとして、作品制作、振り返り、レポートなどを取り入れる。					
履 修 条 件 ・ 注 意 事 項	この科目で「図画工作」の基礎技能を高め、2年後期「図画工作科教育法」につなげてほしい。					
授 業 計 画	第1回：コンテパステルで手や顔を描く。 コンテパステルの扱いに慣れ、対象を見て絵に表す。(目標(1)) 第2回：一点透視図法、二点透視図法、斜投影法、等角投影法を使って立体の作図をする。 箱や階段、外から見た校舎などを絵に表す。(目標(2)) 第3回：色の3属性について知る。24色相環を作成する。トーン（明度と彩度の複合概念）の図を作成する。(目標(3)) 第4回：トーンの図に着色し、明度・彩度を理解する。色彩調和について理解する。同系の調和、類似の調和、対照の調和の配色例を作成する。(目標(3)) 第5回：動きのある人体の全体像を描く。 プロポーションをとらえ、関節を意識し鉛筆で全身像を描き、サインペンで仕上げる。 (目標(1)) 第6回：自画像を墨で描く。 鏡で自分の顔を見ながら鉛筆で自画像を描き、墨汁で仕上げる。(目標(1)) 第7回：模写をする① 模写をすることで、作家が色や形で思いを表現していることを実感する。(目標(1), (3), (5)) 第8回：模写をする②					

	<p>作家の色使いや筆づかいを真似て表現した後、何がどんな色でどのように描かれているかを記録する。(目標(1),(3),(4),(5))</p> <p>第9回：竹とんぼをつくる。 根気良く削り、形を整え、丁寧に磨き、竹とんぼをつくる。飛距離を競う。(目標(6))</p> <p>第10回：木材を使って玩具をつくる① アイデアスケッチをした後、設計図を書き、木取りをする。(目標(2))</p> <p>第11回：木材を使って玩具をつくる② 木を切って研磨をする。(目標(7))</p> <p>第12回：板材を使って玩具をつくる③ 塗装をして仕上げる。(目標(5))</p> <p>第13回：写真を使った構成をする① 写真に合う色画用紙を3枚選び、型枠を使って写真を切り、台紙をつける。(目標(5))</p> <p>第14回：写真を使った構成をする② 台紙をつけた写真をバランスよく配置し、タイトルや紹介文をつける。学友の作品の色や形、イメージ、良さや美しさについて記録する。(目標(5))</p> <p>第15回：絵手紙をつくる。葉書サイズの紙に墨で描いた後、顔彩で彩色する。消しゴムでつくった印を押す。文章を墨で書く。(目標(1),(3),(5),(6))</p> <p>定期試験</p>
授業外学修時間の確保について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間内に作品は完成しない。各自時間をかけて、納得できるものとなるよう追究して仕上げる。作品の提出期限を示した提出作品チェックリストを配布するので、計画的に時間外学習をすすめてほしい。</li> <li>・時間外学習において1-334教室を使ってよい。その際、事前に担当守川にメールで連絡すること。</li> </ul>
学生に対する評価	<p>定期試験30%・作品70%</p> <p>なお、作品・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・作品について授業中に話し合う機会を持つ。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
教材に関する情報	<p>テキスト：特になし</p> <p>参考書・参考資料等：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』</p>
担当者からのメッセージ	<p>「図画工作」の基礎技能は今からでも身につけることができます。自分の感覚を使って表現する力をつけましょう。</p>
オフィスアワー	<p>毎週火曜日 16:20~17:00 Email : <a href="mailto:mmorikawa@miu.ac.jp">mmorikawa@miu.ac.jp</a></p>
備考	<p>事前に学生準備物を示すので、忘れず準備すること。道具等の購入場所が分からない場合は担当教員に相談すること。</p>